

製品名: 嗅覚受容体 11H1/11H2/11H12 ウサギポリクローナル抗体**カタログ番号: APRab15155**

研究使用のみ

概要

説明	ウサギポリクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	WB,ICC/IF,ELISA
反応性	ヒト、ラット、マウス
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	IgG
クローン性	ポリクローナル
形態	液体
濃度	1mg/ml
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	50% グリセロール、0.5% 保護タンパク質、0.02% 新タイプ防腐剤 N を含む PBS 液。
精製	アフィニティー精製

応用

希釈倍率	WB 1:500-1:2000,ICC/IF 1:200-1:1000,ELISA 1:10000-1:20000
分子量	35kDa

抗原情報

遺伝子名	OR11H12
別名	OR11H1; Olfactory receptor 11H1; Olfactory receptor OR22-1; OR11H2; C14orf15; OR11H2P; Olfactory receptor 11H2; Olfactory receptor OR14-1; OR11H12; Olfactory receptor 11H12Q6IEX0
遺伝子 ID	81061/440153
SwissProt ID	Q8NG94/Q8NH07/B2RN74/Q6IEX0
免疫原	抗血清はヒト OR11H1/11H2/11H12 由来の合成ペプチドに対して作製された。アミノ酸範囲: 277-326

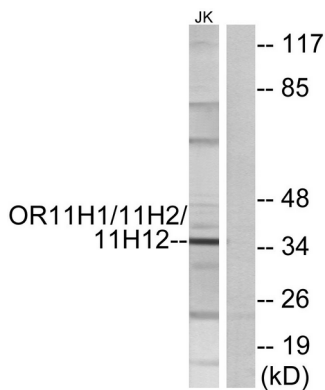
背景

嗅覚受容体は鼻腔内の嗅覚分子と相互作用し、嗅覚の知覚を誘発する神経反応を惹起します。嗅覚受容体タンパク質は、単一のコーディングエクソン遺伝子から生じる G タンパク質共役受容体 (GPCR) の大規模なファミリーに属します。嗅覚受容体は、多くの神経伝達物質受容体やホルモン受容体と 7 つの膜貫通ドメイン構造を共有し、嗅覚シグナルの認識と G タンパク質を介した伝達を担っています。嗅覚受容体遺伝子ファミリーはゲノム中で最大のファミリーです。この生物の嗅覚受容体遺伝子およびタンパク質に割り当てられた命名法は、他の生物とは独立しています。[RefSeq 提供、2008 年 7 月]、注意: Met-1 と Met-12 のどちらが開始因子であるかは不明です。機能: 嗅覚受容体、類似性: G タンパク質共役受容体 1 ファミリーに属します。

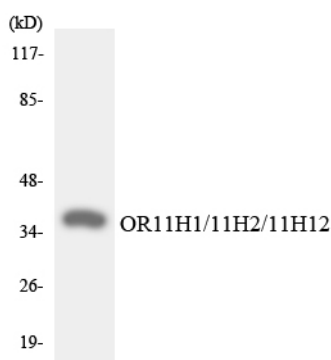
研究分野

嗅覚伝達;

画像データ



OR11H1/11H2/11H12 抗体を用いた Jurkat 細胞ライセートのウェスタンブロット解析。右レーンは合成ペプチドでブロッキングされている。



OR11H1/11H2/11H12 抗体を使用した HeLa 細胞の溶解物のウェスタンブロット分析。